

待降節第1主日 2016.11.27

## いつも目を覚ましていなさい

マタイ 24章 37-44節

(その時、イエスは、弟子たちに言われた。)「人の子が来るのは、ノアの時と同じだからである。洪水になる前は、ノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていた。そして、洪水が襲って来て一人残らずさらうまで、何も気がつかなかった。人の子が来る場合も、このようである。そのとき、畑に二人の男がいれば、一人は連れて行かれ、もう一人は残される。二人の女が臼をひいていれば、一人は連れて行かれ、もう一人は残される。だから、目を覚ましていなさい。いつの日、自分の主が帰って来られるのか、あなたがたには分からないからである。このことをわきまえていなさい。家の主人は、泥棒が夜のいつごろやって来るかを知っていたら、目を覚ましていて、みすみす自分の家に押し入らせはしないだろう。だから、あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである。」

### 説教

きのうの土曜日、簡単な昼ごはんを食べてのんびりしていたのですが、お昼が足りなかったのか、お腹がすいてせんべいを食べ始めました。軒先で寝そべっていた犬がいつのまにかわたしの隣にきていたので、せんべいを犬と分け合っかじりながら見るともなくテレビを見ていました。その時、ふと幸せだなあと感じてちょっとびっくりしました。

幸せとは「自己一致」である、という定義があるそうです。それはおおげさだよ、といって「あー、今日も一日よかったな」と思えることが幸せだということだと定義しなおした方がいます。ずいぶんとわかりやすい、いい意見だと思います。

1)人の子の到来

**人の子が来るのは、ノアの時と同じだからである。(マタイ 24:37)**

人の子とはイエス・キリストのこと、来るとはキリスト再臨をいっています。ノアの時とはノアの洪水をさし、終末、この世が終わる時をいっています。それはノアにとっては救いのときであります。ほかの人々にとっては裁きのときでもあります。「救い」はめでたいことですが、「裁き」とは縁起でもない話、実も蓋もない話、あまりにも率直すぎて話が続くどころか終わってしまいます。しかし、教会は年の初めのメッセージを終わりの時、終末の日から始まめます。待降節第一主日、きょうのメッセージは「目を覚ましていなさい」です。

## 2) ノアの時

**洪水になる前は、ノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていた。そして、洪水が襲って来て一人残らずさうまで、何も気がつかなかった。人の子が来る場合も、このようである。(マタイ 24:38-39)**

マタイ福音書は洪水前と洪水が来たときの様子を語ります。「食べたり飲んだり、めとったり嫁いだり」とは人々がふつうに暮らしていた様子をいっているのでしょう。そして人々は何も気がつかなかったといっています。

**主は、ノアの後ろで戸を閉ざされた。(創世記 7:16b)**

創世記によると箱舟の入り口は主の手で閉じられます。そしてノアの家族以外は洪水に襲われ滅びました。

## 3) 目を覚ましていなさい

**だから、目を覚ましていなさい。いつの日、自分の主が帰って来られるのか、あなたがたには分からないからである。(マタイ 24:42)**

「あなたがたには分からない」という点だけを強調する人がいます。「わからない」ここにつけこみ世の人をまどわす事態は歴史において繰り返されました。そのような人たちは、終末の到来する日時を予言します。これが当たったためしはないのですが、そのたびに多くのクリスチャン、世の人は動揺させられて来ました。聖書を素直に読めばすぐ分かることですが、主が聖

書を通して私たちに呼びかけておられるのは、「目を覚ましていなさい」ということです。終末の日は誰かが予言することではありません。あなたが、わたしが気づくことのようにです。

#### 4) 幸せってなんだ？

しかし「目を覚ましておけ」といわれても混乱します。じゃあ、眠れないじゃないかってツッコミたくなります。実際に終末のことを思うだけで怖くて眠れなくなった経験のある人も多いと思います。43節のたとえば泥棒を警戒するように「裁きの時を警戒してビクビクしながら生活する」ことを薦めているようにも読めます。でもまさかそんなことではないはずです。冒頭の繰り返しになりますが、幸せとは「自己一致」というよりも、「あー、今日も一日よかったな」と思えることが幸せなのでしょう。毎日を、あーいい日だったという気分で終わることができる、このころ構えができる人の子（キリスト）がやってくる日を待ち望む気持ちがより豊かになるように思います。ちょっと極端ですが、今日もいい日だったと感ずることができれば「目を覚ましていた」一日だったといえるでしょう。

-----